

中国四国教育学会

第66回大会プログラム

2014年11月15日(土)・16日(日)

広島大学



<目次>

大会参加要領	1
大会日程	2
交通のご案内	3
広島大学建物配置図	5
広島大学発表会場等配置図	7
自由研究発表(第一日)	9
公開シンポジウム	22
自由研究発表(第二日)	23
ラウンドテーブル	35

大会参加要領

1. 会場案内

本プログラム3頁以降に、交通のご案内、広島大学建物配置図、発表会場等配置図を掲載しております。

2. 受付

受付開始時間 8:30 (大会第一日) 9:00 (大会第二日)

受付場所 広島大学 教育学部1階玄関 (管理棟1階ホール部分) ※懇親会受付も同様

大会参加費 正会員:2,000円 (学生会員:1,000円) 臨時(当日) 会員:1,000円

懇親会参加費 4,000円 (学生会員:3,000円)

懇親会会場 広島大学 学士会館「ラ・ボエーム」

3. 発表要領

- 自由研究発表 個人研究:発表15分、質疑5分
共同研究:発表30分、質疑10分
(ただし、発表者が1名の場合は、個人研究に準じます。)
- 総括討議は、各部会で最後に20~40分程度行います。発表者は必ず参加してください。
- 自由研究発表における共同研究者の氏名は、原則、「発表申込用紙」に記入された順序に従っています。また、○印は口頭発表者です。
- 発表者は、レジュメを30~40部程度ご用意いただき、当日ご持参ください。万一不足しても、大会本部ではコピー等いたしかねますのでご了承ください。
- 液晶プロジェクタを用いて発表される方は、各発表会場の開始20分前までに会場にお越しいただき、機器の調整・テストを行ってください。
- 発表の際、液晶プロジェクタを用いてコンピュータ画面を映写される方は、ノートパソコン (Windows搭載) と電子媒体 (USBメモリ) に記憶させたデータをご持参ください。
- 発表題目は、大会プログラムに記載されているものと同じものを用いてください。
- 発表取り消しがあった時間帯は、ミニ総括もしくは休憩時間に充てられますのでご了承ください。

4. その他

- 本プログラムは大会当日必ずご持参ください。
- 大会第1日目(土)は、生協北1・西2食堂が営業いたしております。大会第2日目(日)は、生協食堂の営業はございませんので、キャンパス周辺の飲食店やコンビニエンスストア等をご利用ください。
- 大会当日、名札を付けた大会実行委員会スタッフが会場のご案内をいたします。ご不明な点がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。
- やむをえず発表を取り消される場合は、速やかに大会実行委員会までご連絡ください。
【代表連絡先: 大会実行委員会会場担当: 間瀬茂夫 (smase@hiroshima-u.ac.jp)】
- その他ご不明な点がございましたら、学会事務局庶務もしくはプログラム担当幹事までお問い合わせ願います。

5. 大会実行委員会および学会事務局連絡先

大会実行委員会

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院教育学研究科

委員長 小原友行

副委員長 松見法男

委員 草原和博、鈴木明子、三好美織、影山和也、間瀬茂夫、兼重 昇、岩田昌太郎、伊藤 真

※代表連絡先・・・会場担当: 間瀬茂夫 (082-424-7056) smase@hiroshima-u.ac.jp

学会事務局

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院教育学研究科 教育学講座内

事務局 長: 古賀 一博

庶務: 河井 由佳 (082-424-4610, yukawai@hiroshima-u.ac.jp)

プログラム・研究推進: 山口 裕毅 (082-424-6745, yuuki-yamaguchi@hiroshima-u.ac.jp)

会計: 丸岡 愛美 (082-424-6744, mmaruoka@hiroshima-u.ac.jp)

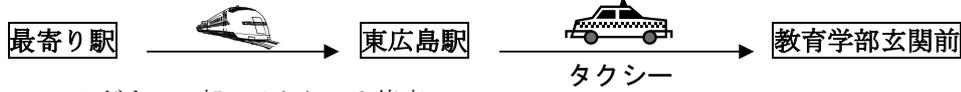
大会日程

第一日 11月15日 (土)		第二日 11月16日 (日)	
8:30～	受付	9:00～	受付
9:30～	自由研究発表	9:30～	自由研究発表
	頁		頁
道徳教育 部会	9	教育の思想 部会	23
教育の歴史 部会	10	高等教育 部会	24
生徒指導 部会	11	カリキュラム 部会	25
授業研究 部会	12	教育行政 部会	26
学校経営 部会	14	教員養成Ⅱ 部会	28
幼児教育Ⅰ 部会	15	国語教育Ⅱ 部会	30
教師の力量形成Ⅰ 部会	18	音楽教育Ⅱ 部会	31
音楽教育Ⅰ 部会	20	音楽教育Ⅲ 部会	32
リテラシーと教育 部会	21	教育と言語 部会	33
9:50～		9:50～	
地域社会と教育 部会	13	幼児教育Ⅲ 部会	27
幼児教育Ⅱ 部会	16	教師の力量形成Ⅱ 部会	29
教員養成Ⅰ 部会	17	ケアと教育 部会	34
国語教育Ⅰ 部会	19		
～12:20		～12:20	
12:20	昼食・各種打合せ	12:20	昼食・各種打合せ
～13:30		～13:30	
13:30	公開シンポジウム	13:30	ラウンドテーブル① (L102)
～16:30	(L205)	22	35
		～15:30	ラウンドテーブル② (L104)
			36
16:40	総会		
～17:40	(L205)		
18:00	懇親会		
～20:00	レストラン「ラ・ボエーム」 (学生会館)		

交通のご案内

◆山陽新幹線をご利用の場合

・東広島駅をご利用の場合



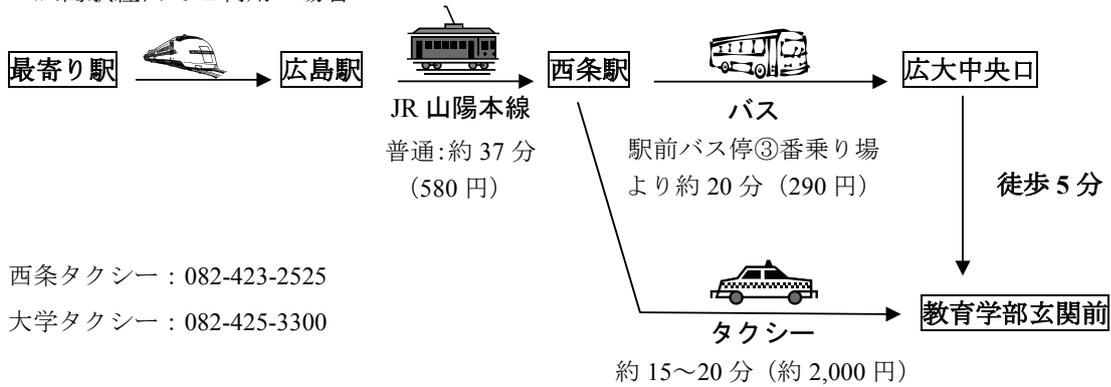
*こだま、一部のひかりのみ停車。

約 20 分 (約 2,000 円)

※広島大学行バスは土日祝日運休。

東広島タクシー：082-423-2121

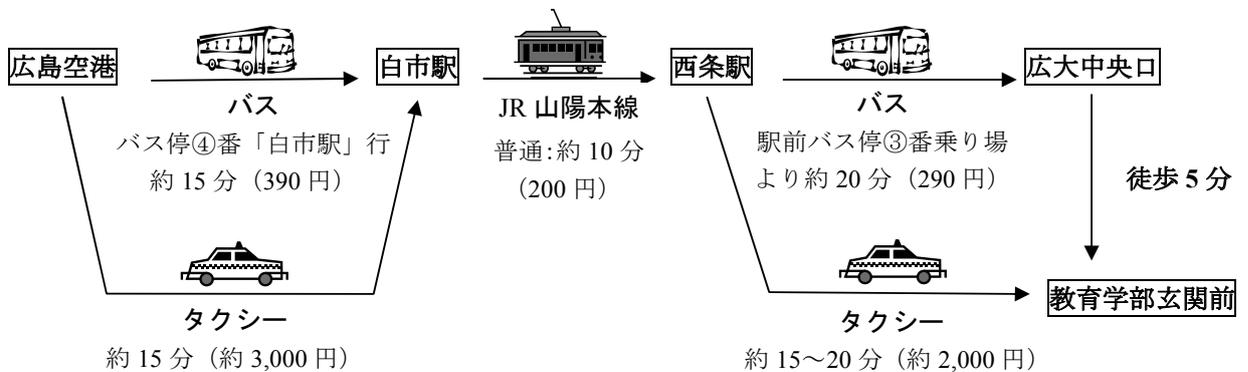
・広島駅経由でご利用の場合



西条タクシー：082-423-2525

大学タクシー：082-425-3300

◆広島空港をご利用の場合



白市交通 (空港⇄白市駅)：082-434-0408

広島空港から広島大学までの直通の交通機関はございません。

広島空港から西条駅までの時刻表は次の URL をご覧ください。

<http://www.hij.airport.jp/timetable/access/timetable.pl?mode=jp>

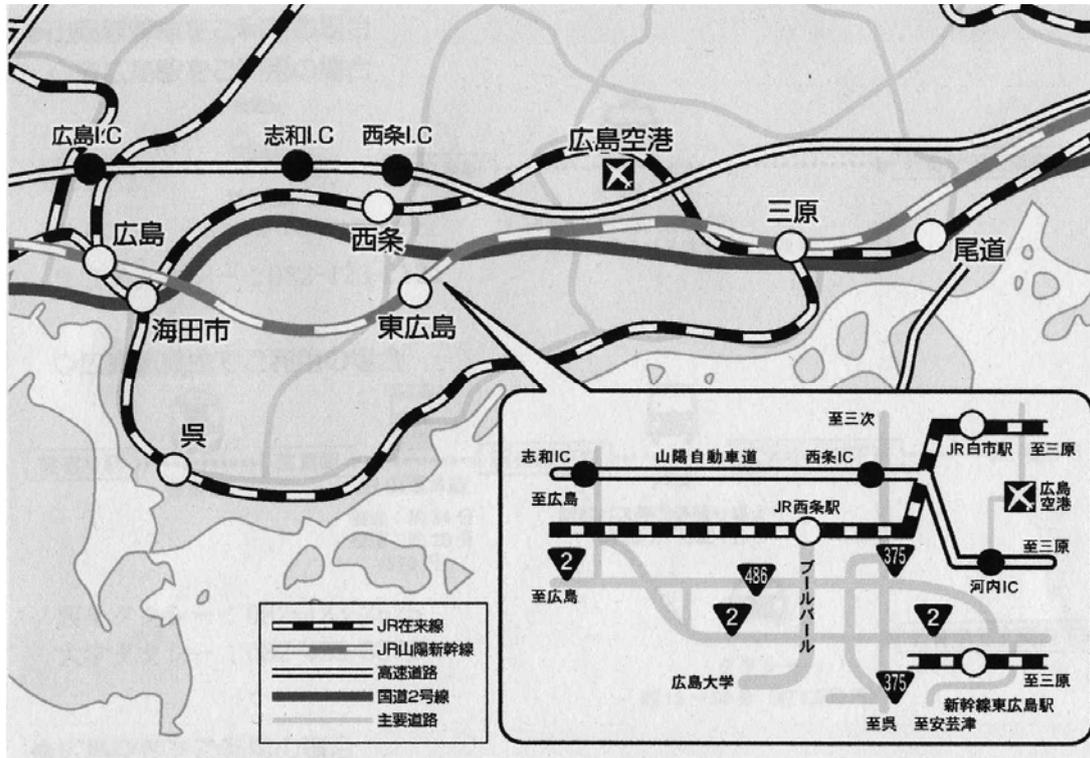
◆広島市内から高速バスをご利用の場合

広島バスセンター (一部は広島駅) から、広島大学行き的高速バスが 1 日約 18 便運行されています。

(広島バスセンター⇄広島大学 所要時間：約 1 時間、料金：片道 870 円、往復 1,490 円)

時刻表は次の URL をご覧ください。 <http://www.chugoku-jrbus.co.jp/highway/detail/393>

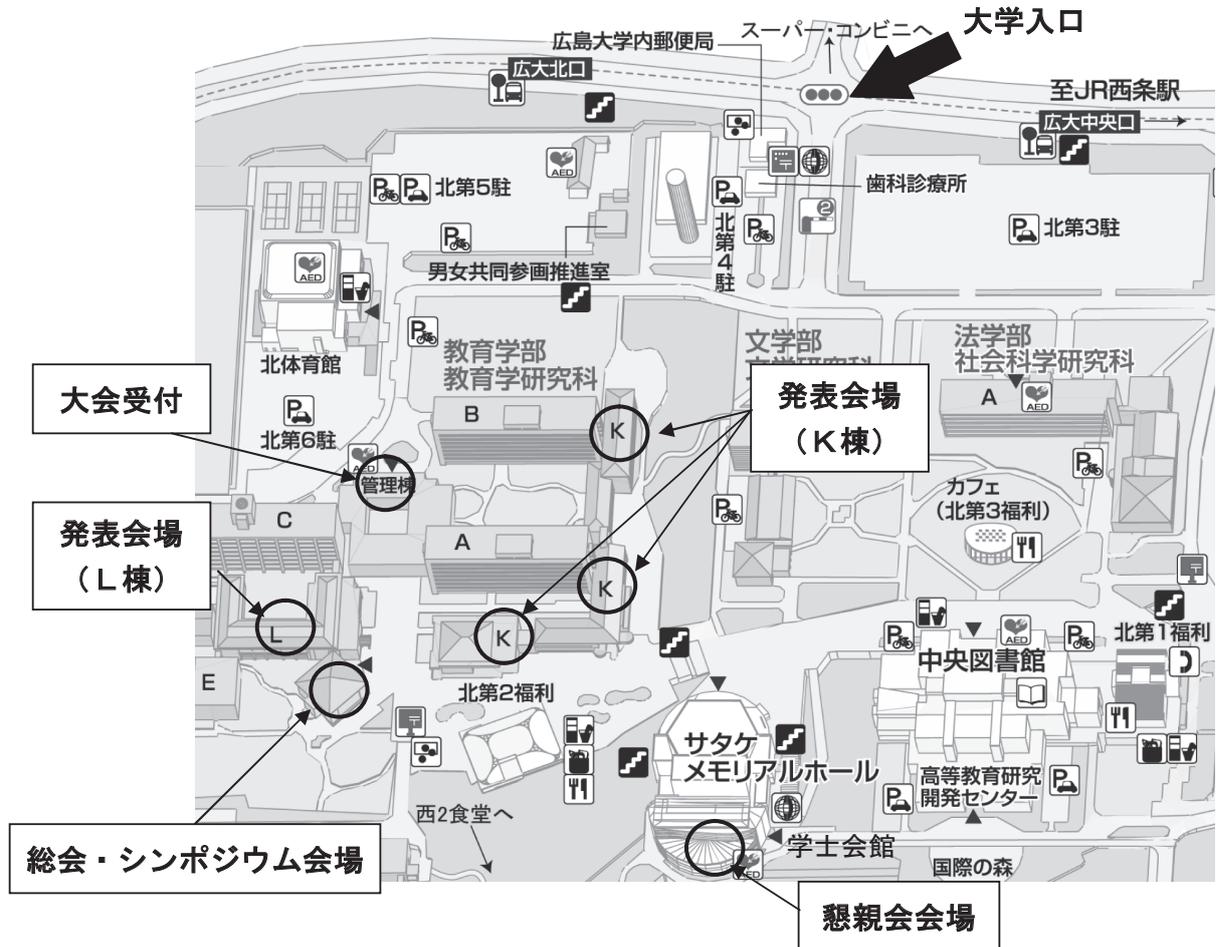
交通のご案内



バス時刻表 西条駅⇄広島大学（土日用）

西条駅発	広大中央口着	西条駅発	広大中央口着	広大中央口発	西条駅着	広大中央口発	西条駅着
7:45	7:57	13:45	13:57	8:17	8:40	14:57	15:20
8:05	8:17	14:15	14:27	8:38	9:01	15:27	15:50
8:26	8:38	14:45	14:57	8:50	9:13	15:57	16:20
8:38	8:50	15:15	15:27	9:07	9:30	16:12	16:39
8:55	9:07	15:45	15:57	9:27	9:47	16:40	16:57
9:10	9:22	16:00	16:12	9:40	10:00	16:42	17:05
9:15	9:27	16:30	16:42	10:10	10:33	17:10	17:33
9:28	9:40	16:58	17:10	10:39	10:59	17:30	17:57
9:58	10:10	17:18	17:30	10:55	11:15	17:56	18:23
10:27	10:39	17:44	17:56	11:19	11:39	18:17	18:44
10:43	10:55	18:05	18:17	12:02	12:22	18:29	18:56
11:07	11:19	18:17	18:29	12:12	12:32	19:07	19:30
11:50	12:02	18:55	19:07	12:27	12:50	19:35	19:58
12:00	12:12	19:23	19:35	12:57	13:17	20:22	20:45
12:15	12:27	20:10	20:22	13:27	13:47	21:17	21:40
12:45	12:57	21:05	21:17	13:57	14:17		
13:15	13:27	22:01	22:13	14:27	14:54		

広島大学教育学部建物配置図



- ・大会受付：教育学部玄関（管理棟1階ホール）
- ・懇親会会場：学士会館ラ・ボエーム
- ・総会・シンポジウム会場：L205 講義室
- ・大会事務局：第3・4会議室
- ・ラウンドテーブル会場：L102・L104 講義室
- ・会員控室：L202 講義室
- ・自由研究発表会場：K棟・L棟

総会のご案内

第一日（11月15日）16：40より、L205 講義室にて総会を開催いたします。ぜひともご出席ください。

懇親会のご案内

第一日（11月15日）18：00より、学士会館ラ・ボエームにて懇親会を開きます。参加費は4,000円（学生会員は3,000円）となっております。相互交流の場として、多くの方々にご参加いただきたいと思います。

ラウンドテーブルのご案内

第二日（11月16日）13：30より、L102・L104 講義室にてラウンドテーブルを開催します。多くの方々にご参加いただきたいと思います。

大会 第一日

道德教育 部会

会場：L102講義室 9：30～12：20

司会：櫻井 佳樹
(香川大学)

- ① 9:30 自己犠牲についての道德的位置づけ
—ニーチェとカント— 渋山 昌雄
(島根大学・非常勤)
- ② 9:50 広島市における平和教育の歴史 プストフスキー アナスタシア
(広島大学・院生)
- ③ 10:10 レヴィナス倫理学に基づく道德教育の可能性 安喰 勇平
(広島大学・院生)
- ④ 10:30 道德的実践と「規則」の関係性に関する一考察 杉田 浩崇
(愛媛大学)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 道德的価値観の再構築におけるナラティブの役割に関する
一考察 ○小島 啓明
(愛媛大学教育学部附属小学校)
○杉田 浩崇
(愛媛大学)

【総括討議 11:40～12:20】

大会第一日 11月15日(土)

教育の歴史 部会

会場：L108講義室 9：30～12：20

司会：梶井 一暁
(岡山大学)

- ① 9:30 歴史認識形成をめぐる日中比較分析 深尾 亮
(広島大学・院生)
- ② 9:50 清末の国語教科書からみる日本教育の影響 班 婷
(広島大学・院生)
- ③ 10:10 公立小学校における「学習法」実践の展開
—山口県宇部市神原尋常小学校を事例として— 鈴木 和正
(長崎女子短期大学)
- ④ 10:30 明治期帝国教育会における教員講習の展開
—中等教員程度の学力向上機会の小学校教員に対する提供— 白石 崇人
(広島文教女子大学)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 明治期刊行雑誌『少女』(女子文壇社)の研究 田中 卓也
(共栄大学)
- ⑥ 11:20 学友会雑誌にみる愛知県立第一中学校卒業者の進路 烏田 直哉
(東海学園大学)

【総括討議 11:40～12:20】

生徒指導 部会

会場：L107講義室 9：30～12：20

司会：田中 理絵
(山口大学)

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| ① 9:30 特別活動の実態調査 | 山西 哲也
(淑徳大学) |
| ② 9:50 家庭背景による生徒の分化 | 濱本 行治
(広島大学・院生) |
| ③ 10:10 フリースクールにおける進路の選択過程 | 藤村 晃成
(広島大学・院生) |
| ④ 10:30 小規模中学校における部活動設置と教育活動の状況 | 藤井 宣彰
(福山平成大学) |
| 【休憩 10分】 | |
| ⑤ 11:00 受験指導によりつくられるカリキュラム | 井中 学史
(広島大学・院生) |
| ⑥ 11:20 学校評価における「生徒指導」の記述分析 | 石田 美清
(埼玉県立大学) |

【総括討議 11:40～12:20】

授業研究 部会

会場：L104講義室 9：30～12：20

司会：権藤 誠剛
(島根大学)

- ① 9:30 ダンス教育の日米比較
—目標から導かれる内容・方法の違いについて—
- 菅尾 尚代
(広島修道大学)
松岡 重信
(福山平成大学)
- ② 9:50 教育方法学における相互主体パラダイムへの転換の再検討
- 宮原 順寛
(北海道教育大学)
- ③ 10:10 批判的教育学における授業研究の今日的展開
- 松田 充
(広島大学・院生)
- ④ 10:30 教師と教師集団の「成熟」を志向するレッスン・スタディ
に関する考察
- 森下 真実
(広島都市学園大学)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 授業研究における教科指導と生徒指導の相互関連と構成方法
- 深澤 広明
(広島大学)
○佐藤 雄一郎
(広島大学・院生)

【総括討議 11:40～12:20】

地域社会と教育 部会

会場：L109講義室 9：50～12：20

司会：久井 英輔
(広島大学)

- ① 9:50 郷土史学習を通じた人間教育
—グローバル化した現代を見据えて—
- 中嶋 裕子
(福山平成大学)
中島 友子
(神戸医療福祉大学)
- ② 10:10 「特色ある学校づくり」における地域との連携に関する一考察
- 周 蘭君
(広島大学・院生)
- ③ 10:30 サービス・ラーニング論の比較考察
- 荻田 英和
(広島大学・院生)
- 【休憩 10分】
- ④ 11:00 地方芸術文化団体による音楽教育システムに関する研究
- 畑山 洋平
(広島大学・院生)
- ⑤ 11:20 変容的学習の展開と理論的射程
- 正木 遥香
(広島大学・院生)

【総括討議 11:40～12:20】

学校経営 部会

会場：L207講義室 9：30～12：20

司会：林 孝
(広島大学)

- ① 9:30 学校経営に資するコーチングの理論的基盤に関する考察(6) 曾余田 順子
- ② 9:50 マーケティング3.0に基づく学校経営に関する考察 内田 政幸
(広島大学・院生)
- ③ 10:10 マーケティング論に基づくコミュニティースクールに関する考察 ○福長 輝倅
(広島大学・院生)
○内田 政幸
(広島大学・院生)

【休憩 10分】

- ④ 11:00 学校経営の目標概念群の構成と機能に関する事例分析(2) ○曾余田 浩史
(広島大学)
○曾余田 順子

【総括討議 11:40～12:20】

幼児教育 I 部会

会場：L204講義室 9：30～12：20

司会：松井 剛太
(香川大学)

- ① 9:30 ニュージーランドにおける保幼小の接続 飯野 祐樹
(弘前大学)
- ② 9:50 自由遊びにおける3歳児の動態に関する研究 ○智谷 思音
(広島大学)
財満 由美子
(広島女学院大学)
王 路曦
(広島大学・院生)
大野 歩
(大分大学)
- ③ 10:10 Y県X幼稚園の音楽活動に関する一考察 中井 夕貴
(広島大学・院生)
- ④ 10:30 同一地域における保幼小連携の調査研究 河口 麻希
(広島大学・院生)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 多様な遊び環境が点在する場における幼児同士の関わりの研究 ○保木井 啓史
(広島大学・院生)
小山 美香
(広島大学・院生)
富田 雅子
(広島大学・院生)
- ⑥ 11:20 4歳児における「応答性」に関する研究 —成立条件に着目して— ○濱名 潔
(広島大学・院生)
斬 雨竺
(広島大学・院生)
津川 典子
(広島大学・院生)
福長 輝倅
(広島大学・院生)
伊藤 優
(広島大学・院生)

【総括討議 11:40～12:20】

幼児教育Ⅱ 部会

会場：L206講義室 9：50～12：20

司会：中坪 史典
(広島大学)

- ① 9:50 20世紀初期のニューヨーク市における幼稚園音楽教育
—指導要領の検討を中心に— 井本 美穂
(広島大学・院生)
- ② 10:10 保育における絵本指導のジャンルアプローチ的考察 深澤 悦子
(広島都市学園大学)
- ③ 10:30 子どもの理解と援助のフレームワークの構築 (6)
○池田 隆英 (岡山県立大学)
○楠本 恭之 (岡山短期大学)
○光田 尚美 (近畿大学)
中原 朋生 (川崎医療短期大学)
- 【休憩 10分】
- ④ 11:20 モンテッソーリ教育における A. M. マッケローニの音楽指
導法に関する研究 藤尾 かの子
—Music Book : Value of notes の検討を通して— (広島大学・院生)

【総括討議 11:40～12:20】

教員養成 I 部会

会場：K104講義室 9：50～12：20

司会：滝沢 潤
(大阪市立大学)

- ① 9:50 カナダにおける教員養成に関する研究 下村 智子
(三重大学)
- ② 10:10 Education in Laos: In case of Teacher Training college,
(Bankeun TTe) (ラオスにおける教員養成に関する研究) ○ XAPARKDY ANOUSONE
(サパディー アヌソン)
(広島大学・教員研修留学生)
兼重 昇
(広島大学)
- ③ 10:30 中国における保育者のメンタルヘルスに関する研究 王 路曦
—幼稚園教諭のコーピングに着目して— (広島大学・院生)
- 【休憩 10分】
- ④ 11:00 中国における初等教員養成カリキュラムの比較分析 高 慧珠
(広島大学・院生)
- ⑤ 11:20 我が国における教員養成カリキュラムの大学間比較研究 中村 萌恵
—小学校教員の養成課程を中心として— (広島大学・院生)

【総括討議 11:40～12:20】

教師の力量形成 I 部会

会場：K114講義室 9：30～12：20

司会：尾島 卓
(岡山大学)

- ① 9:30 小学校社会科教師の力量形成過程について
— 一人の実践分析を通して—
- 中島 常彦
(広島大学・院生/
神戸市立竹の台小学校)
- ② 9:50 学校外のインフォーマルな教師集団における教師の経験
— 民間教育研究団体・教師サークルへの参入過程と帰属過程に注目して—
- 原田 拓馬
(山口大学・院生)
- ③ 10:10 教師のリフレクション力を高める方法について
- 若木 常佳
(福岡教育大学)
- ④ 10:30 アメリカにおける教職の専門職化に関する研究
— NBPTS 資格認定の運用実態とその特徴—
- 田澤 翔吾
(福岡県立水産高等学校)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 「専門職の学習共同体」としての学校に関する基礎的研究(5)
— Milbrey W. McLaughlin の「教授・学習のコンテキスト」に関する研究に注目して—
- 織田 泰幸
(三重大学)
- ⑥ 11:20 教師教育カリキュラムに関するライフヒストリー・アプローチ
- 八木 秀文
(安田女子大学)
滝浪 常雄
(安田女子大学)
藤原 逸樹
(安田女子大学)

【総括討議 11:40～12:20】

国語教育 I 部会

会場：K115講義室 9：50～12：20

司会：幾田 伸司
(鳴門教育大学)

- ① 9:50 説明的文章の読みの指導における読解方略の類型 古賀 洋一
(広島大学・院生)
- ② 10:10 読むことの教育の理論と実践における「自己」観の検討 武田 裕司
(広島大学・院生)
- ③ 10:30 自覚的に読む読者を育てる学習指導法の考察 龍田 優
—QARを手がかりに— (広島大学・院生)
- 【休憩 10分】
- ④ 11:00 自己表現指導としての作文教育に関する批判的考察 山田 直之
(広島大学・院生)
- ⑤ 11:20 話し合いを評価する力に関する一考察 上山 伸幸
(広島大学・院生)

【総括討議 11:40～12:20】

大会第一日 11月15日(土)

音楽教育 I 部会

会場：K203講義室 9：30～12：20

司会：武内 裕明
(弘前大学)

- ① 9:30 音楽科授業における生徒の学習意欲を喚起する要因の検討 別府 祐子
(広島大学・院生)
- ② 9:50 スウェーデンにおける成人を対象とした合唱指導法 松本 進乃助
(広島大学・院生)
- ③ 10:10 カール・オルフの音楽教育活動についての評価 吉井 也代里
—ギョンターシューレとラジオ放送における取り組みを比較して— (広島大学・院生)
- ④ 10:30 音高同定能力に関する研究 能見 義史
—被験者による機械のピッチ操作を伴う実験を通して— (広島大学・院生)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 演奏時のパフォーマンス発揮への取り組みに関する研究 平山 裕基
—演奏動作における運動スキル学習の観点から— (広島大学・院生)
- ⑥ 11:20 Gordon の音楽適性プロフィールに関する研究 酒井 勇也
(広島大学・院生)

【総括討議 11:40～12:20】

リテラシーと教育 部会

会場：K215講義室 9：30～12：20

司会：時津 啓
(広島文化学園大学)

- ① 9:30 教育の情報化と中学生・高校生の学習態様に関する調査研究
- 福本 昌之
(川崎医療福祉大学)
- 米沢 崇
(広島大学)
- 金川 舞貴子
(岡山大学)
- 諏訪 英広
(川崎医療福祉大学)
- ② 10:10 「新しい能力」観が学校教育に及ぼす影響に関する考察
- 尾籠 祐利
(山口大学・院生)
- ③ 10:30 批判的リテラシー教育に関する基礎的研究
- 綱川 和明
(広島大学・院生)
- 【休憩 10分】
- ④ 11:00 芸術教育論における「能力」論争の構造と前提
—「美的経験」の位置づけをめぐって—
- 中居 舞子
(広島大学・院生)
- ⑤ 11:20 ジャンル・アプローチと学問的リテラシーとの関連に関する一考察
- 中野 和光
(美作大学)

【総括討議 11:40～12:20】

公開シンポジウム

会場：L205講義室
13：30～16：30

グローバル化と学校教育

【基調提案】

大野 彰子（国立教育政策研究所）

「グローバル化の全体像，現状，求められる人材像と学校教育への期待」

【シンポジスト】

安宅 弘展（広島女学院中学高等学校）「外への国際化の取組」

木村 幸子（広島市立白島小学校）「内なる国際化の取組」

小川 正人（環太平洋大学）「海外のグローバル教師教育の動向」

山元 隆春（広島大学）：「グローバル教師教育に向けた広島大学の取組」

【コーディネーター】

影山 和也（広島大学）

【趣旨】

知識基盤社会化やグローバル化が現行学習指導要領への改訂のひとつの要因になったことは記憶に新しい。2011年5月に設置されたグローバル人材育成推進会議では、「グローバル化」とは「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」が国境を越えて高速移動し、人口や環境等のあらゆる課題を全地球的規模で捉えることが不可欠となった時代状況を指すものとして理解されている。そこでは、グローバル化社会を生き、担い、活躍できる「ヒト」の育成とそのための方策の環境整備は、今後の我が国成長にとって検討すべき課題として位置づけられている。その鍵として「学校」の枠を超えて産学連携の道を模索したり、グローバルを肌で触れること、すなわち海外留学や国際交流を行うことはごく自然な流れであるけれども、だからこそ10年を超える学校教育において、何をすべきで何ができるのか、人間形成という目的のなかでどのようにグローバル化を位置づけねばならないかといった、新たな問い直しが求められているといえる。

たとえば英語を話せることはグローバル化であるか否かに関わらず重要な能力であるが、それはコミュニケーション能力の高低と必ずしも直接的に結びつくものではない。また、グローバルに目をやればやるほど、われわれ自身の成長基盤であるはずのローカルの重要性を思い知ることになる。そもそもグローバル化とは多義的な言葉である。上述の通り、包括的な時代状況を指すこともあるし、よりローカルかつ直接的には、異なる言葉の話す者が隣にいるという状況も含められるであろう。そうしたとき、「グローバルを肌で触れる」のみでは、充実した「ヒト」の育成も学校教育の実現もあり得ないだろう。

本シンポジウムでは、5名のシンポジストから各々の背景から提言いただき、今回テーマについて考えていく。グローバル化そのものについて共通理解を図った後、「外への国際化」と「内なる国際化」の取り組みについて交流する。次いで、海外でのグローバル教師教育の動向と、事例として広島大学の今後の取り組みについて触れた後、グローバル化社会における学校教育の役割について考えていきたい。

大会 第二日

教育の思想 部会

会場：L102講義室 9：30～12：20

司会：鈴木 由美子
(広島大学)

- ① 9:30 造形教育における「プリミティヴ性」の位置
—パウル・クレーの子ども観と実践から— 小笠原 文
(広島大学・院生)
- ② 9:50 プラトンの音楽教育論に関する一考察 工藤 千晶
(美作大学)
- ③ 10:10 子どもたちの関係性とアイデンティティ形成に関する一考察
—チャールズ・テイラーの哲学的人間論から— 平良 亮
(琉球大学・院生)
- ④ 10:30 R. W. エマソンの初期教育思想に関する研究
—牧師の二重性と教育的空間の二重性に着目して— 都田 修兵
(岡山大学・院生)
- 【休憩 10分】
- ⑤ 11:00 現代における一般教養の概念に関する一考察
—ガダマの一般教養論に注目して— 大関 達也
(兵庫教育大学)
- ⑥ 11:20 子どもにおける「役割」とレジリエンスの形成 古賀 直樹
(広島文化学園大学・非常勤)

【総括討議 11:40～12:20】

高等教育 部会

会場：K102講義室 9：30～12：20

司会：葛城 浩一
(香川大学)

- ① 9:30 大学間連携の検証—キャリア教育を中心として— 大庭 茂美
(九州女子短期大学)
- ② 9:50 革新的教育のマネジメント 藤埴 智一
—理工系分野のケーススタディー— (宮崎大学)
- ③ 10:10 米国大学生の日本文化体験プログラムによる文化意識の変容 ○武田 雅史
(ウエスタンカロライナ大学)
兼重 昇
(広島大学)
- ④ 10:30 「通信制」と「通学制」の融合型制度の必要性に関する一考察 前田 宗良
—通信制大学院を通して— (鹿屋地域センター)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 21世紀初頭における私立大学の学部編成の変化 ○山崎 博敏
(広島大学)
○水野 考
(元関東学園大学)
伊藤 一統
(宇部フロンティア大学)
作田 良三
(松山大学)

【総括討議 11:40～12:20】

カリキュラム 部会

会場：L104講義室 9：30～12：20

司会：山根 俊喜
(鳥取大学)

- ① 9:30 授業研究における「ピザ型」学力評価枠組みの構築 (3)
—授業構成プロセスへの子どもの参加を中心に— 尾島 卓
(岡山大学)
- ② 9:50 中学校歴史学習者の学習状況分析
—ブリーポストテストの分析を手がかりに— 横山 千夏
(広島大学・院生)
- ③ 10:10 問題化による歴史単元の構造原理
—ジェラルド・パンソンの論を手がかりに— 若原 崇史
(広島大学・院生)
- ④ 10:30 PISA の受容に見る国際標準化とダイバーシティの対話の可能性
—わが国の事例を中心に— ト部 匡司
(広島市立大学)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 PISA 後ドイツにおける学力向上政策とカリキュラム改革
—学力テストの動向と Kompetenz 概念の導入に着目して—
- 樋口 裕介
(福岡教育大学)
- 熊井 将太
(山口大学)
- 渡邊 眞依子
(愛知県立大学)
- 吉田 成章
(広島大学)
- 高木 啓
(千葉大学)

【総括討議 11:40～12:20】

教育行政 部会

会場：L107講義室 9：30～12：20

司会：松元 健治
(広島文化学園短期大学)

- ① 9:30 米国公立学校における性教育に関する研究 森垣 佳美
(広島大学・院生)
- ② 9:50 2014年フランスの教育政策 田崎 徳友
—ブノワ・ハモン新国民教育相の施策— (九州女子大学)
- ③ 10:10 中国における少数民族の文化伝承を目指したカリキュラム 金 龍哲
開発の新展開 (神奈川県立保健福祉大学)
—新しい教育課程モデルとの関係に注目して—
- ④ 10:30 インドにおける女子教育の現状と課題 河井 由佳
(広島大学)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 小規模自治体の教育委員会制度に関する研究—「中央教育 小松田 智菜
審議会」答申にみる政策動向の検討を中心にして— (広島大学・院生)
- ⑥ 11:20 香港の教育改革に関する研究 潘 建秀
(大阪大学)

【総括討議 11:40～12:20】

幼児教育Ⅲ 部会

会場：L206講義室 9：50～12：20

司会：七木田 敦
(広島大学)

- ① 9:50 保育の場がかわいく飾られる背景の検討
—製作参考書の分析から— 武内 裕明
(弘前大学)
- ② 10:10 お遊戯の人間学的考察 中野 桂子
(福岡大学・研究生)
- ③ 10:30 19世紀後半におけるドイツの幼稚園に関する研究 井下 べに
(広島大学・院生)

【休憩 10分】

- ④ 11:00 ブルーナー幼児教育論再考 相馬 宗胤
—世界制作論としてナラティブ論を読む— (広島大学・院生)
- ⑤ 11:20 戦前の龍野幼稚園における保育内容に関する研究 ○和田 真由美
—大正・昭和初期の記録をもとに— (近大姫路大学)
田中 亨胤
(近大姫路大学)

【総括討議 11:40～12:20】

教員養成Ⅱ 部会

会場：L109講義室 9：30～12：20

司会：市田 敏之
(皇學館大学)

- ① 9:30 教員養成における体験活動の教育的意義に関する一考察 三好 崇史
(広島大学・院生)
- ② 9:50 ドイツにおける音楽科教員養成課程の学修 伊藤 真
(広島大学)
- ③ 10:10 教職課程担当教員養成プログラムにおける運営者のあり方
○山口 裕毅 (広島大学)
○森下 真実 (広島都市学園大学)

【休憩 10分】

- ④ 11:00 教員養成における集団討論の取り組み (1) (2)
○徳本 達夫 (広島文教女子大学)
○佐伯 育郎 (広島文教女子大学)

【総括討議 11:40～12:20】

教師の力量形成Ⅱ 部会

会場：L204講義室 9：50～12：20

司会：曾余田 浩史
(広島大学)

- ① 9:50 青年海外協力隊に参加した現職教員の意識変容
—日本語教師として活動する国語教員Fの事例を基に—
綱本 麻希
(鳴門教育大学・院生)
- ② 10:10 若手教員の「教職観」の変容とその要因
武智 康晃
(山口大学・院生)
- ③ 10:30 新任教諭の言説に見る保育の意図と保育者意識
多田 琴子
(神戸常磐大学)
- 【休憩 10分】
- ④ 11:00 保育・教職実践演習の検討
—地方私立短期大学の事例を中心に(Ⅱ)—
渡辺 一弘
(別府大学短期大学部)
- ⑤ 11:20 新人教員の職業的社会化に関する研究
—新任期の教職観および実践の形成過程を手がかりに—
柿山 宗次郎
(広島大学・院生)

【総括討議 11:40～12:20】

国語教育Ⅱ 部会

会場：K104講義室 9：30～12：20

司会：山元 隆春
(広島大学)

- ① 9:30 教育的文体論の枠組みから考える文学テキストの協同的読解 宇山 公暁
(広島大学・院生)
- ② 9:50 国語科教員養成課程で出会う『源氏物語』(2) 坂東 智子
—「国宝・源氏物語絵巻柏木二」を読む— (山口大学)
- ③ 10:10 民話「三年とうげ」の比較を通じた史的考察 黒川 麻実
—国語教科書を中心に— (広島大学・院生)
- ④ 10:30 イギリス中等国語科教育におけるシェイクスピア作品 植村 志保
—GCSE 試験の分析を中心に— (広島大学・院生)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 教材としての絵巻 (6) 井上 泰
—古典学習の拡充に向けて— (広島大学附属福山中・高等学校)
- ⑥ 11:20 古典学習における主題単元のテーマ設定 ○信木 伸一
—「生徒にとっての問題調査」から— (尾道市立大学)
渡辺 春美
(高知大学)
富安 慎悟
(島根大学)

【総括討議 11:40～12:20】

音楽教育Ⅱ 部会

会場：K114講義室 9：30～12：20

司会：長島 真人
(鳴門教育大学)

- ① 9:30 『小学唱歌集』(明治15年～明治17年)との比較における『明治唱歌』(明治21年～明治25年)の特徴に関する一考察
山田 めぐみ
(広島大学・院生)
- ② 9:50 成城小学校における学校劇の研究
升田 真依子
(広島大学・院生)
- ③ 10:10 ベネット・リーマーの音楽教育思想とその変容
—A Philosophy of Music Education の第3版に見られる改定に着目して—
長谷川 諒
(広島大学・院生)
- ④ 10:30 音楽の好みに関する研究の最新動向
大西 潤一
(元鈴峯女子短期大学)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 1960年代の小学校音楽科における基礎能力観に関する研究
—東京教育大学附属小学校に着目して—
○三村 真弓
(広島大学)
吉富 功修
(広島大学名誉教授)
- ⑥ 11:20 わが国の音楽科教育における学力観
○吉富 功修
(広島大学名誉教授)
三村 真弓
(広島大学)
伊藤 真
(広島大学)
井本 美穂
(広島大学・院生)

【総括討議 11:40～12:20】

音楽教育Ⅲ 部会

会場：K115講義室 9：30～12：20

司会：緒方 満
(比治山大学)

- ① 9:30 スペイン教育科学省とカタルーニャ自治州の初等芸術教育カリキュラムの比較研究
—音楽科における身体表現の位置づけに着目して— FERRAN GALICIA JOSEP
(フェラン ガリシア ジュゼブ)
(広島大学・院生)
- ② 9:50 小学校音楽科教科書における創作活動に関する一考察
—昭和55年出版版と平成4年出版版の教科書の比較を通して— 岡崎 藍
(広島大学・院生)
- ③ 10:10 国際バカロレアのディプロマ・プログラムにおける音楽の試験内容分析 伊藤 友貴
(広島大学・院生)
- ④ 10:30 シンガポールにおける小・中学校芸術科音楽のシラバスに関する研究—2002年版と2008年版の比較を通して— 森山 実華
(広島大学・院生)

【休憩 10分】

- ⑤ 11:00 『全米芸術教育標準』による影響と効果
—音楽教科書の改訂に着目して— 栗木 陽子
(広島大学・院生)
- ⑥ 11:20 坊田壽眞の音楽科授業実践
—『学習指導』(小学館)に掲載の指導案の検討— 本永 りえ
(洋光幼稚園)

【総括討議 11:40～12:20】

教育と言語 部会

会場：K203講義室 9：30～12：20

司会：永田 良太
(広島大学)

- ① 9:30 状況論的学習論の再検討 平田 仁胤
(岡山大学)
- ② 9:50 状況的周辺参加としての日本語学習は学習者に何をもち
すか 竹口 智之
(サハリン国立総合大学)
- ③ 10:10 中国語を母語とする初中級日本語学習者における日本語漢
字の読み上げに及ぼす中日漢字の異形度の影響 ○費 暁東
(広島大学)
松島 弘枝
(広島大学・院生)
- ④ 10:30 「児童の言語生態研究会」のイメージ観に関する一考察 秦 恭子
(九州大学・院生)

【休憩 10 分】

- ⑤ 11:00 現行中学校教科書における「伝統的な言語文化」教材の考察 島崎 敦子
(香美市立大柵中学校)
- ⑥ 11:20 国語教科書における主題単元構成の実態 池田 匡史
—主題単元学習との対比を通して— (広島大学・院生)

【総括討議 11:40～12:20】

ケアと教育 部会

会場：K215講義室 9：50～12：20

司会：奥野 佐矢子
(神戸女学院大学)

- ① 9:50 児童虐待の再生産論に関する一考察 田中 理絵
(山口大学)
- ② 10:10 特別支援教育の視点を取り入れた通常学級の授業づくり 吉田 茂孝
(大阪教育大学)
- ③ 10:30 家庭支援における教育と福祉に関する一考察 藤井 瞳
(広島大学・院生)
- 【休憩 10分】
- ④ 11:00 児童養護施設退所者にとっての施設職員
—大学進学者へのアフターケアに着目して— 西本 佳代
(至誠館大学)
- ⑤ 11:20 自閉症者の教育人間学的研究
—授業の場に着目して— 眞次 浩司
(倉敷市立短期大学)

【総括討議 11:40～12:20】

ラウンドテーブル①

会場：L102講義室
13：30～15：30

各国の教育政策・施策における国際学力調査の影響

【企画者】

渡邊 あや（国立教育政策研究所）

【司会】

渡邊 あや（国立教育政策研究所）

【提案者】

二宮 皓（比治山大学・比治山短期大学部） 研究のねらい

田崎 徳友（九州女子大学） フランスの事例

藤井 泰（松山大学） イギリスの事例

金 龍哲（神奈川県立保健福祉大学） 上海の事例

大野亜由未（元広島市立大学） ポーランドの事例

下村 智子（三重大学） カナダの事例

金井裕美子（広島大学） ベルギーの事例

ト部 匡司（広島市立大学） ドイツ、日本の事例

佐藤 仁（福岡大学） 分析の枠組

奥田 久春（広島大学） オーストラリア、サモアの事例

潘 建秀（大阪大学） 香港の事例

【企画趣旨】

本企画は、国際学力調査が各国の教育に与えた影響を、施策など、実践により近いレベルの取組みから明らかにしようとするものである。

周知の通り、PISAをはじめとする国際学力調査は、各国の教育動向に多大な影響を与えてきた。本ラウンドテーブルの提案者らが実施している共同研究では、国際学力調査が教育制度及び教育政策にもたらした影響を検証することにより、その実相を明らかにしようとしてきた。これまで行ってきた調査において主たる対象としてきたのは、システムレベル（国レベル）の影響である。それらは、学力をめぐる国際的な枠組に対する各国の姿勢やその受容・活用を明らかにした一方で、実際の教育現場への影響については見えにくい側面があった。そこで、本ラウンドテーブルにおいては、そこから一歩踏み込み、施策等、より実践に近いレベルの取組からこれに迫ることにより、国際学力調査の影響を新たな視点から描き出すことを試みる。

ラウンドテーブル②

会場：L104講義室
13：30～15：30

教職課程担当教員による
大学教科書(テキスト)の執筆と編集
—私たちの経験と解釈—

【企画者】

佐々木 司(山口大学)

【司会】

佐々木 司(山口大学)

【提案者】

佐々木 司(山口大学)	教育と研究という疑似二元論の向こう側
三時眞貴子(広島大学)	教職科目の教科書執筆と課題
猫田 和明(山口大学)	英語科教育法における教科書の位置づけを考える
三山 緑(岐阜聖徳学園大学)	活用面から見た教職科目テキストの課題

【企画趣旨】

初等中等段階の教職キャリアは「ライフステージ」に区分され、各々特徴づけられた上で体系化されるというリニアな成長モデルとして描かれる。一方、大学教員については、入職段階で必要とされる資質・能力の獲得に目が向いているようだが、「その後のステージ」を踏まえた議論は活発ではない。

本ラウンドテーブルは、経験年数10～20年の大学教員4名が自らの教科書執筆・編集経験とその解釈、そして様々な関連事項を自由に語り合おうとするものである。

その内容は、研究者であって研究者ではない自分、「現場教員」とは異なる存在としての自分を意識したものになるかもしれない。もしかしたら比較的手軽に業績を獲得する手段、それが教科書執筆だったとして、一種の自己批判が展開されるかもしれない。とにかく様々なことが語られ得るだろう。議論の先行きと進行を恐れつつ、みんなでディスカッションを楽しみたいと考えている。

